

2025.10.30

神谷さとるが掲げる主な公約とその取り組み

碧南市議会議員

[4 期目] 神谷 さとる

大分類	取り組みテーマ	テーマに対する取り組み内容	進捗状況
安全なまちづくり   	○防災・減災対策と 防犯活動の推進	(1) 緊急輸送道路の 整備推進 	70%
	○交通渋滞緩和と 事故多発路線対策	(2) 減災体制の強化	90%
		(3) 防犯カメラ設置による 防犯体制の強化	70%
		(4) 交通渋滞の緩和 (路線新設・改良)	70%
		(5) 安全な通学路の整備と 危険箇所の対策・改善	85%
		(6) 高齢者の事故防止 対策の推進	80%
ひとにやさしい まちづくり 	○高齢化社会への諸施策の充実	(7) 地域包括支援センターの 機能強化と充実	80%
	○安心して子育てできる環境整備	(8) 健康寿命延伸の推進 外出支援・居場所づくり	85%
		(9) 子育て支援の拡充	85%
		(10) きめ細やかな教育の充実	60%
活力ある豊かな まちづくり 	○人口維持に向けた環境整備	(11) 定住促進に向けた支援の 推進	85%
		(12) 就労する場の確保の拡 充	75%
		(13) カーボンニュートラルに 向けた取り組み	50%
	○行財政改革への取り組み推進	(14) 持続可能な財政運営に 向けた改善活動の推進	40%

取り組み内容の詳細 & 補足

碧南市議会議員

神谷 悟

取り組み内容の詳細
（１）緊急輸送道路の整備推進 ・緊急輸送道路（港南１号線）全面補修完了へ向け取り組む（トヨタ衣浦工場から南へ事業を展開） 〔理由〕 震災の被害を最小化、早期普及、帰宅困難者ゼロを目指す必要がある
（２）減災体制の強化 ・大規模災害時の災害関連死と長期的な避難所生活によるストレスの軽減・プライバシーの確保対策に取り組む 〔理由〕 避難所内の設置できるテント・エアベッド・ポータブル電源等の備品を整備する必要がある
（３）防犯カメラ設置による防犯体制の強化 ・近隣市に比べ、犯罪件数が少ない町であるが行政・警察と連携し、取り組みを図る 〔理由〕 町内会・商店街が主体となり、地域防犯意識の向上を目指す必要がある
（４）交通渋滞の緩和（路線新設・改良） ・慢性的な渋滞が発生している道路については可能な限り改善を進めることにより経済の活性化に 〔理由〕 道路の安全性、快適性の確保と物流コストの低減を図る必要がある
（５）安全な通学路の整備と危険個所の対策・改善 ・生活道路での歩行空間確保に向けたゾーン３０拡大の推進と危険個所の対策を進める 〔理由〕 子ども達の安全を守ることを重点に交通事故防止対策を行う必要ある
（６）高齢者の事故防止対策の推進 ・市内巡回バスの利便性を高め、高齢者の運転免許証返納率の向上を進める 〔理由〕 高齢者の事故防止対策を進めるために取り組む必要ある
（７）地域包括支援センターの機能強化と充実 ・市内各地区ごとに地域包括支援センターの開設を早急に進める 〔理由〕 団塊の世代が後期高齢者となる２０２５年を見据え取り組む必要ある
（８）健康寿命延伸の推進 ・健康寿命延伸に向け、各種講習会や高齢者向けのイベント等の企画を推進する 〔理由〕 高齢者の外出促進による健康保持、コミュニケーションの機会を設け、高齢者福祉の向上を図る必要ある
（９）子育て支援の拡充 ・安心して子育てできる環境づくりに努め、子育て世帯の経済的負担を軽減する 〔理由〕 人口減少・少子高齢化に少しでも歯止めがかかる施策の充実を進める必要がある
（１０）きめ細やかな教育の充実 ・日本語初期指導教育の充実と拡充 〔理由〕 言語の支援を必要とする外国籍児童の増加に伴い、通訳のできるアシスタントの拡充が必要である
（１１）定住促進に向けた支援の推進 ・結婚・出産・子育て環境をバランスよく支援を推進 〔理由〕 少子高齢化に歯止めをかける必要がある（地方でやれることはやる思いが必要である）
（１２）就労する場に向けた支援の推進 ・北部工業用地の活性化を図る取り組み（新型コロナウイルス影響を鑑みて） 〔理由〕 市内企業の流出防止と新規企業の誘致により安定した雇用の創出を図る必要がある
（１３）カーボンニュートラルに向けた支援の強化 ・２０５０年脱炭素社会へ向けた取り組みの推進 〔理由〕 グリーンリカバリーの推進により、地域経済の活性化につなげる
（１４）持続可能な財政運営に向けた改善活動の推進 ・行財政改革の推進と市職員の改善活動の強化 〔理由〕 税収に対応できる歳出構造を目指し、効率的な事業実施と健全かつ持続可能な財政運営を進める必要がある（市民病院の今後のあり方について、スピード感を持って検討し、持続可能な財政運営を行う）